



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月1日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
 コード番号 9385 URL <http://www.shoei-corp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 有村 芳文

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,247	10.5	362	22.8	343	24.0	219	24.2
2018年3月期第3四半期	11,985	9.2	470	7.8	451	38.1	289	39.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 155百万円 (60.2%) 2018年3月期第3四半期 389百万円 (59.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	33.65	
2018年3月期第3四半期	44.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	8,822	2,518	28.5	384.95
2018年3月期	8,416	2,424	28.8	372.78

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,518百万円 2018年3月期 2,424百万円

(注) 2019年3月期第1四半期の期首より、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		13.00	13.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭、記念配当 3円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.2	583	2.2	550	1.9	406	13.1	62.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	6,850,000 株	2018年3月期	6,850,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	308,005 株	2018年3月期	346,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	6,524,172 株	2018年3月期3Q	6,477,527 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景に企業の業績や雇用環境の改善、設備投資の増加により緩やかな回復基調の動きが見られました。一方で個人消費につきましては、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、自然災害や株安等による消費マインドの悪化により消費者の節約志向は続いております。

海外では、中国や新興国経済の減速リスク、さらには米国の貿易通商政策による貿易摩擦の懸念や、金融資本市場の変動リスクなどにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原油価格や為替の変動、人件費の増加、運賃の値上げといった景気を下振れさせる懸念材料がある中、商品調達のさらなる向上と営業社員の意識改革の推進等を図り、今期の経営戦略である販促営業の推進と充填セットの強化に努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,247百万円（前年同期比10.5%増）となりました。しかしながら利益面につきましては、株式及び債券市場等の変動による年金資産運用の悪化や、タイ子会社において原料費の高騰や為替の変動、国内におきましても人件費や運賃の上昇といった外部要因による影響を受け、営業利益は362百万円（前年同期比22.8%減）、経常利益は343百万円（前年同期比24.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（パッケージ事業）

当セグメントにつきましては、プロモーション営業といった販促営業の推進や充填セット作業の強化等により売上高は前年を上回ったものの、無地や小物など単価の低い製品が増加したことや、タイ子会社においては原料費の高騰やドル安パーツ高が続いていることによる利益の減少、国内では運賃の値上げや発送効率の悪化等があったことからセグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は7,127百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は532百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

（メディアネットワーク事業）

当セグメントにつきましては、前期に引き続き販売促進品の提案を中心としたビジネスに注力したことで、従来からの配送費の低減や納期短縮等の提案を行う一気通貫サービスに対する依頼が増えたことで売上高は前年を上回ったものの、セグメント利益は前年同期をわずかに下回りました。

その結果、売上高は3,079百万円（前年同期比26.3%増）、セグメント利益は107百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

（日用雑貨品事業）

当セグメントにつきましては、消耗品を中心としつつ、雑貨や化粧品等の新商品の投入を積極的に進め、海外協力メーカーとの強いパイプによる商品力の向上や商品企画開発力の強化に努めたこと、また当社の強みであるポリ製品等の消耗品を軸に販路をドラッグストア等の量販店に進めていったことから、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、売上高は3,394百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は172百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、子会社が物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は18百万円、セグメント利益は12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ405百万円増加しました。これは主に商品及び製品等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は6,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	646,201	455,512
受取手形及び売掛金	2,861,758	2,847,982
電子記録債権	248,307	407,911
商品及び製品	1,332,241	1,682,409
仕掛品	130,348	146,359
原材料及び貯蔵品	80,372	89,953
その他	348,682	355,910
貸倒引当金	△6,116	△6,225
流動資産合計	5,641,796	5,979,814
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,712	1,125,712
その他(純額)	785,663	867,548
有形固定資産合計	1,911,375	1,993,260
無形固定資産		
その他	57,555	169,999
無形固定資産合計	57,555	169,999
投資その他の資産		
その他	817,049	688,764
貸倒引当金	△10,836	△9,374
投資その他の資産合計	806,213	679,390
固定資産合計	2,775,145	2,842,650
資産合計	8,416,941	8,822,465
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,229,703	2,500,784
短期借入金	2,240,000	2,240,000
1年内返済予定の長期借入金	151,770	166,800
未払法人税等	97,164	21,626
未払消費税等	30,597	28,774
賞与引当金	104,232	70,986
その他	330,604	425,932
流動負債合計	5,184,072	5,454,905

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
固定負債		
長期借入金	333,050	297,750
退職給付に係る負債	78,904	71,591
長期未払金	145,052	145,052
その他	251,272	334,828
固定負債合計	808,279	849,222
負債合計	5,992,351	6,304,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	159,176	175,478
利益剰余金	1,849,961	1,984,972
自己株式	△61,588	△54,827
株主資本合計	2,176,949	2,335,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,192	117,662
繰延ヘッジ損益	△13,446	—
為替換算調整勘定	60,895	65,651
その他の包括利益累計額合計	247,641	183,313
純資産合計	2,424,590	2,518,336
負債純資産合計	8,416,941	8,822,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	11,985,270	13,247,435
売上原価	9,577,812	10,768,407
売上総利益	2,407,457	2,479,028
販売費及び一般管理費	1,937,297	2,116,164
営業利益	470,159	362,864
営業外収益		
受取利息	273	178
受取配当金	3,425	5,306
デリバティブ評価益	9,936	995
資材売却収入	3,983	4,278
その他	5,136	2,729
営業外収益合計	22,755	13,487
営業外費用		
支払利息	24,335	28,713
為替差損	11,391	—
その他	5,558	4,475
営業外費用合計	41,285	33,188
経常利益	451,628	343,162
特別利益		
固定資産売却益	223	—
特別利益合計	223	—
特別損失		
固定資産除却損	2,400	385
特別損失合計	2,400	385
税金等調整前四半期純利益	449,451	342,776
法人税、住民税及び事業税	139,118	134,136
法人税等調整額	20,521	△10,923
法人税等合計	159,640	123,213
四半期純利益	289,810	219,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	289,810	219,563

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	289,810	219,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,413	△82,530
繰延ヘッジ損益	6,000	13,446
為替換算調整勘定	9,350	4,756
その他の包括利益合計	99,764	△64,327
四半期包括利益	389,575	155,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,575	155,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。